

第2回

谷村 吉隆 氏

(京都大学 理学研究科 化学専攻)

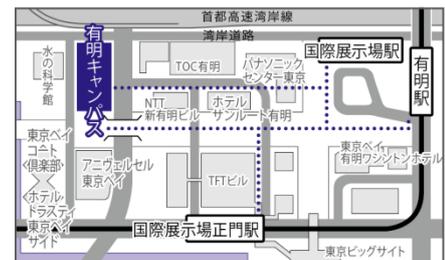
散逸系の量子力学に基づく
光合成初期過程の動力学的研究

光合成系は光と水で二酸化炭素を還元する究極のエコシステムである。その過程には光吸収、エネルギー移動、電子移動、プロトン移動など多くの量子過程が介在し、不可逆性にはタンパク質が重要な働きをする。本講演では、散逸系の量子力学の基礎を確率的リユービル方程式と関連づけながら説明し、これを光合成系に適用し、生物系における量子効果と散逸過程の重要性を議論する。

9月 3日 (木) 16:30-18:00

武蔵野大学有明キャンパス, 1号館 3階 306室

事前登録不要・参加無料：どなたでも自由にご参加いただけます。



りんかい線「国際展示場駅」徒歩7分

